

2007年3月期 中間決算について



New way, New value

双日株式会社

2006年10月31日

プレゼンテーションサマリー

- 好調な中間決算実績を受けての通期業績見直し上方修正
- 持続的な成長のための新規投融資の着実な進捗
- 優先株式一掃へ向けた順調なCB転換

I. 2007年3月期 中間決算概要
および通期見通し

2007年3月期 中間決算 PLサマリー

好調な中間決算実績を踏まえ、通期業績見通しを修正

(単位: 億円)

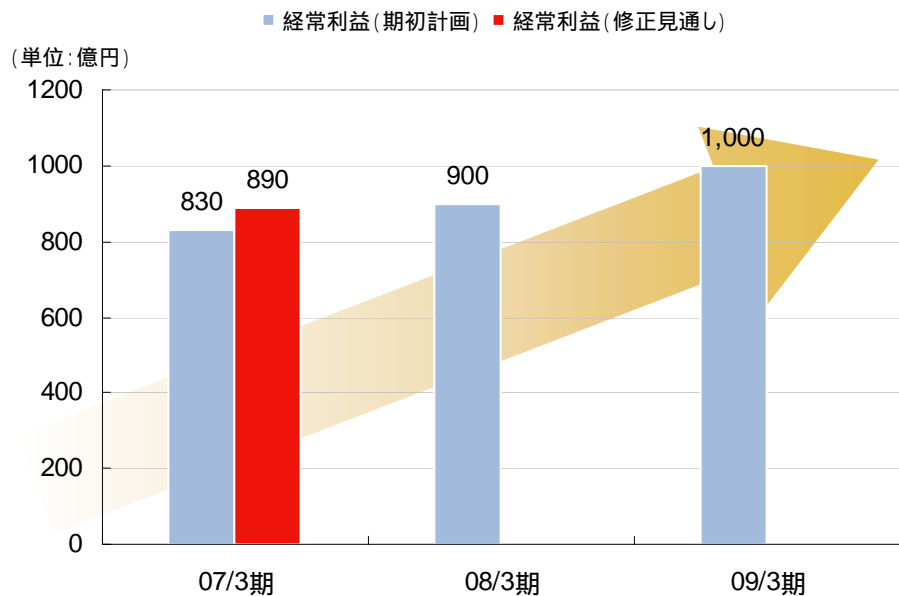
	05/9期 実績	06/9期 実績	増減額	07/3期 期初計画	07/3期 修正見通し	増加額 (増加率)	修正見通し に対する 上期進捗率
売上高	23,540	25,292	+1,752	52,000	53,000	+ 1,000 (+2%)	48%
売上総利益	1,187	1,226	+39	2,530	2,580	+ 50 (+2%)	48%
営業利益	379	393	+14	810	850	+ 40 (+5%)	46%
経常利益	426	464	+38	830	890	+ 60 (+7%)	52%
当期純利益	259	314	+55	490	560	+ 70 (+14%)	56%

- 前年同期は約30億円の一過性のプラス要因が存在しており、一過性要因を除くと、経常利益は実質17%増益(05/9期:396億円 06/9期464億円)
- エネルギー・金属資源、機械・宇宙航空などの好調を背景に、通期見通しを修正

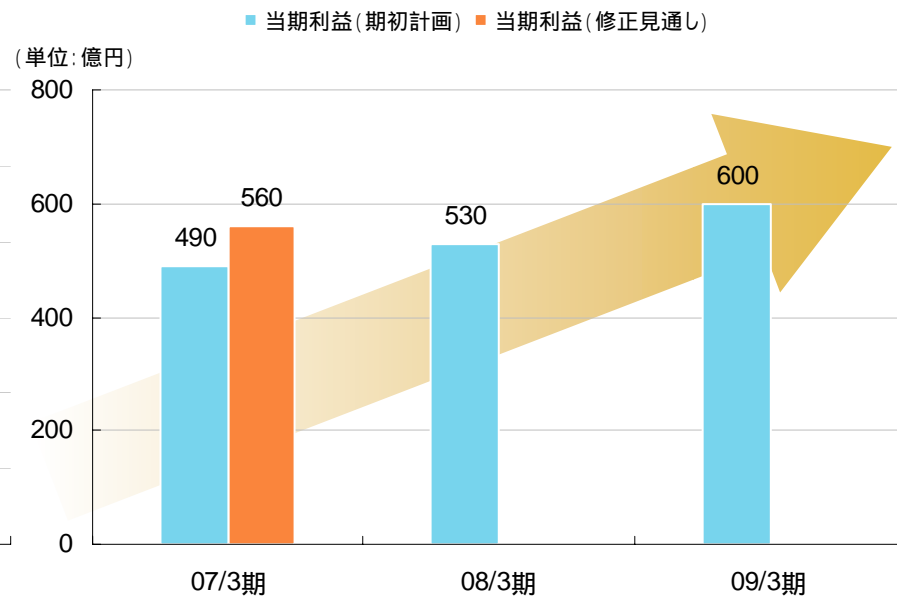
財務目標～ 経常利益・当期利益～

07/3通期見通し修正により「New Stage 2008」最終年度計画値も視野に入るレベルへ

経常利益



当期利益



2007年3月期 通期業績見通しの修正(セグメント別経常利益)

(単位:億円)

	07/3期初 見通し	07/3修正 見通し	増減額	足元の状況と通期の見方
機械・ 宇宙航空	115	117	+ 2	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車は中南米、中近東、ロシアCIS地域の取引拡大により順調に推移 ●航空機はボーイング関連取引で順調。船舶は傭船市況の高止まりもあり順調 ●一般機械の内、プラント及び情報機器輸出が一部納期遅れ等により低調
エネルギー・ 金属資源	228	277	+ 49	<ul style="list-style-type: none"> ●石油・ガス・LNGは、ガス増産の遅れを石油権益事業がカバーし、概ね計画通り ●石炭および鉄鋼関連の持分法適用会社(メタルワン)は好調 ●金属資源は、アルミナの順調な販売やモリブデン市況の想定以上の高値推移で好調
化学品・ 合成樹脂	78	55	23	<ul style="list-style-type: none"> ●化学品、肥料、メタノール、それぞれの事業は好調 ●見通しの下方修正は、農薬関連の持分法適用会社(アリストライフサイエンス)が財務体質強化のため減損処理等を行ったことによる
建設・木材	75	86	+ 11	<ul style="list-style-type: none"> ●建設は、下期型にて概ね計画通り(下期竣工予定の物件の販売は順調) ●木材は、国内合板市況の回復により、双日建材を中心に好調
生活産業	69	58	11	<ul style="list-style-type: none"> ●繊維は下期型だが、アパレル小売販売の不振により低調 ●食料は食品等の製品が小売での販売不振の影響により低調 ●物資はチップが堅調に推移するも、リテール関連の不振等により低調
海外現地法人	128	140	+ 12	<ul style="list-style-type: none"> ●中国が不調なるも、米州の機械関連事業等が良好に推移し、好調
その他	137	157	+ 20	<ul style="list-style-type: none"> ●新規事業開発グループは、日商エレクトロニクススのハードディスクドライブ販売不振により、やや低調 ●コーポレートは、概ね巡航速度で進捗
合計	830	890	+ 60	

商品市況、為替、金利

(1) 商品市況

	07年3月期計画 前提条件	07年3月期 上期実績平均	07年3月期 下期予想平均	<参考> 足元の状況 (10/30時点)
原油(Brent) ()	\$50/bbl (バレル)	\$66/bbl	\$65/bbl	\$58.5/bbl
石炭	・基本的に年間契約であり、SPOT市況の影響は殆ど受けない ・今年度も権益炭の大部分が契約済み			
モリブデン	\$16/lb (ポンド)	\$23.7/lb	\$25.1/lb	\$25.5/lb
バナジウム	\$5.5/lb (ポンド)	\$8.4/lb	\$7.2/lb	\$7.3/lb

() 原油の収益感応度 \$1/bblにつき、経常利益で1億円から1.5億円

(2) 為替

- ・前提条件 07年3月期計画¥110/\$ ・上期平均 ¥115.4/\$ ・下期前提条件 ¥110/\$
- ・収益感応度 為替が1円変動すると、売上高で100億円程度、経常利益で1～2億円の影響
BSに与える影響は、自己資本に対して15億円程度
(いずれも、円高は減少、円安で増加)

(3) 金利

- ・前提条件 短期金利 0.85%程度 長期金利 2%程度
- ・収益感応度 金利が1%変動すると、年間17～20億円程度の影響を受ける

II. 成長戦略

2007年3月期 上期における主な新規投融資案件

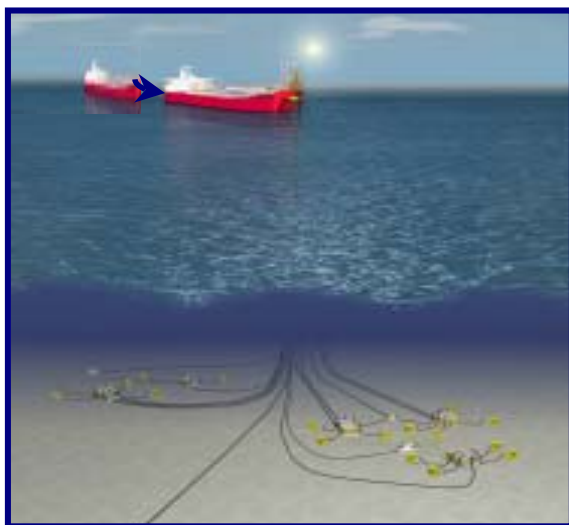
成長戦略 の分類	主な案件名	金額 (億円)	合計 (億円)	概要
資源確保	北海クリバーバンクエリア、 ウェストソールエリアガス田	120	325	本件の中核事業となるグローブガス田開発は既に生産プラットフォーム及びパイプラインが設置されており、12月より生産開始予定。その後、掘削事業を経て、08年には当社持分生産量は日量3,500bblとなる予定
	ブラジル・フラージ油田	85		当社が強みを持つ国の一つであるブラジルで、長年に亘るペトロプラス社との好関係により、約10年前の初期段階から参画していたPJが漸く商業開発移行決定。プレミアム支払い不要のコストの安い優良案件。本邦企業による同国での上流権益事業は現在本件のみ
	米国メキシコ湾WC168鉱区	70		メキシコ湾におけるガス田事業へ追加参画
	豪州ミネルバ炭鉱権益追加購入	30		1994年から参画している豪州ミネルバ炭鉱の権益を買い増し、持分権益を30% 45%へ増加させる。これにより、当社取扱数量は年間113万トンとなる予定で、日本のみならず、一般炭の需要が旺盛なアジア地域への販売も強化
	エジプト アラメイン油田、イドマ油田	20		今後井戸の掘削等を行い、08年中旬までに当社持分生産量は日量1,800bblとなる予定
バリュー チェーン	自動車関連	50	85	自動車メーカーとの関係強化のための出資
	ベトナム水酸化アルミニウムPJ	30		歴史的に強いベトナムにおいて、日本軽金属(株)をパートナーとして、アジア最大規模の水酸化アルミニウム工場建設を計画(現在FS中)
	アパレル関連	5		中国生産工場への投資
コア トレーディング	ロシア、中国単板・製材工場設立	40	120	海外でのオリジナル商品開発機能を強化し、国内での多様なニーズに対応
	ショッピングセンター事業	40		埼玉県にて郊外型ショッピングセンターを設立
	食料関連	30		中国・東南アジアの生産・販売拠点への投資
	A.D. Vision社(アニメコンテンツ)	10		北米最大のアニメディストリビューター「A.D. Vision」社への出資
合計(コミットメントベース) (:現時点での見通し金額)			530	

持続的な成長のための投融資計画(中期経営計画3ヵ年:3,000億円)は順調な進捗

下期以降もエネルギー・金属資源、機械・宇宙航空等において大型投資案件が控えている

資源確保実施例 ～ ブラジル・フラージ油田 ～

当社が強みを持つブラジルにおいて、本邦企業初の上流権益事業として商業開発移行が決定



浮体式原油生産貯蔵積出システム (FPSO) と海底生産システムの組み合わせにより開発。原油はFPSOで処理・貯蔵された後、シャトルタンカーにて出荷

- 事業パートナーであるペトロプラス社と長年に亘る好関係を背景にフラージ油田開発事業に1999年から参画
- 南米第2位の産油国であるブラジルにおいて原油生産に向けて商業開発移行を決定した、本邦企業初の上流権益事業
- 開発段階から同プロジェクトに参画しているため、プレミアム支払いが不要なコストの安い優良案件
- 今後も事業パートナーであるペトロプラス社および国際石油開発株式会社 (INPEX) との好関係を継続し更なる事業創出を目指す

～ 案件概要 ～

- プロジェクト総事業費: 約2,760億円
～ 当社投融資額85億円
- 可採埋蔵量: 約3億バレル
～ 当社持分: 2.3% / 6.9百万バレル
- 生産開始: 2009年4月予定
生産量: 日量10万バレル(ピーク時)の見込み

バリューチェーン実施例 ~ ベトナム水酸化アルミニウムPJ ~

歴史的に強いベトナムにおいてアジア最大規模の水酸化アルミニウム工場建設を計画



日本軽金属株の水酸化アルミニウムの清水工場

- ベトナムは歴史的に強く、中期経営計画においてもロシア、タイなどととも重点国と位置付けており、経営資源を傾斜配分
- 当社のハノイ事業所は20年の伝統を誇る
- 国内において強固な関係を築いている日本軽金属株の水酸化アルミニウム工場移転PJに当社もパートナーとして参画することを計画中(現在FS中)
- ベトナムは水酸化アルミニウムの原料であるボーキサイト埋蔵量が世界第3位と豊富
- 現地事業会社への出資(シェアは未定)を予定しており、生産された水酸化アルミニウムの販売については、東南アジアを中心に全世界へのマーケティングに取り組む計画
- 化学品バリューチェーンを更に強化

~ 案件概要 ~

- プロジェクト総事業費: 約400億円(見込み)
- パートナー: ベトナム化学公団グループ、日本軽金属株式会社
- 生産能力: 年間55万トン(見込み)
- 用途: 水処理材、人工大理石、難燃剤など

コアトレーディング実施例 ～モラージュ菖蒲(しょうぶ)～

日本全国に展開しているショッピングセンター事業の新規案件

MORE STYLISH、MORE HAPPY! SHOBU



内装イメージ

2F Exiting Life

- ✓ヤングファッション
- ✓レディカジュアル
- ✓服飾雑貨
- ✓生活雑貨
- ✓フードコート
- ✓シネマコンプレックス
- ✓アミューズメント
- ✓フィットネスクラブ

など



内装イメージ

1F Classy Life

- ✓スーパーマーケット
- ✓ホームセンター
- ✓ドラッグストア
- ✓レストラン
- ✓カフェ
- ✓クリーニング
- ✓トラベルセンター
- ✓クリニック

など

- 当社は、土地取りまとめ、店舗企画、テナント誘致、店舗運営等を一貫して自社で行うことで強みを発揮する
- 開業後事業価値を高めた上で売却を原則とし、売却後も管理運営に携わることによって運営ノウハウの蓄積を目指す

【モラージュ菖蒲の基本方針】

- 開発テーマ
「優」スタイリッシュ
自然と調和したスタイリッシュモール
- 施設イメージテーマ
The Great Dipper(北斗七星)
7つのコートを中心とした施設づくり
- MDテーマ
新しい自分スタイルの発見
ライフスタイル提案型Merchandising

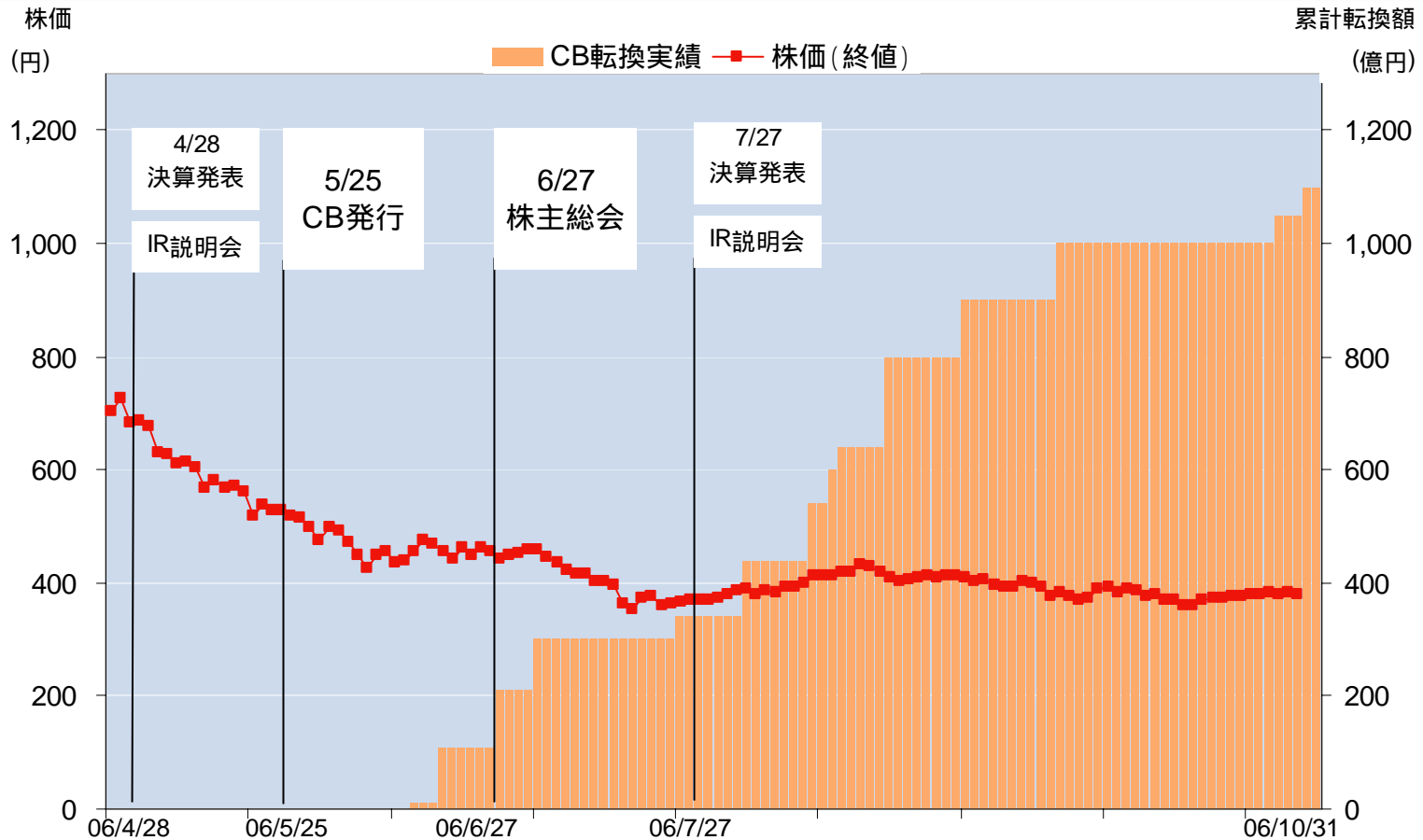
～案件概要～

- 投資予定金額: 40億円
- 開業予定時期: 2008年春
- 所在地: 埼玉県南埼玉郡菖蒲町
- 敷地面積: 約143,000㎡(営業面積: 約70,500㎡)
- 駐車台数: 約5,000台

III. 資本戦略

CB転換累計額 / 株価推移

CB (3,000億円) の転換状況と当社株価推移

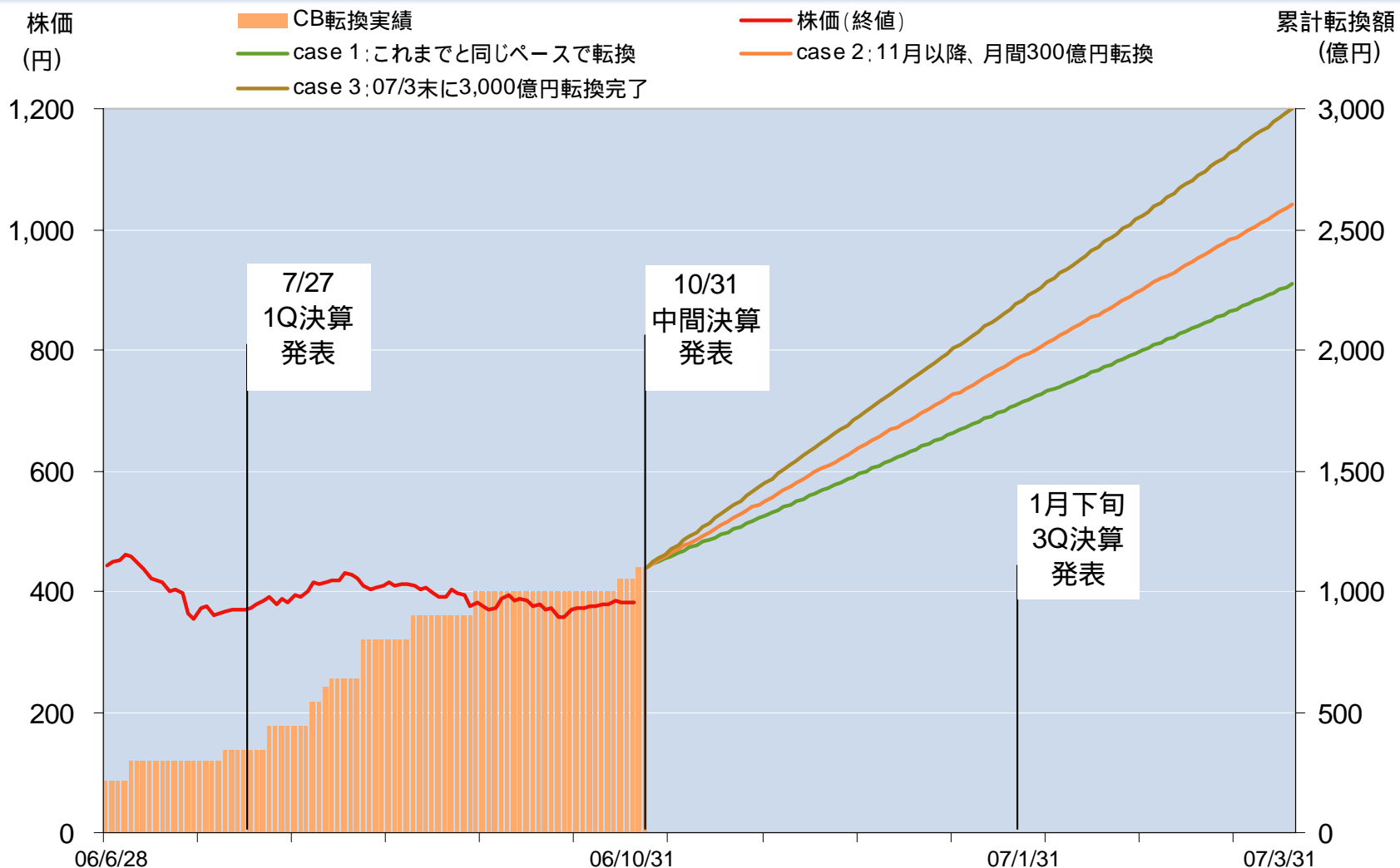


CB3,000億円の転換状況(10月31日現在)

転換累計金額: 1,100億円 (転換率: 37%)

CB転換累計額・実績と今後の転換シミュレーション

CB (3,000億円) の転換実績と今後の転換シミュレーション



格付けの状況

S&P社が当社の長期会社格付け、長期優先債券格付けを格上げ(2006年9月29日)
更なる格付けの向上を目指す

- 長期会社格付け

BB- **BB** (格上げ方向でクレジットウォッチ継続)

- 長期優先債券

BB+ **BBB-**

~ S&P社2006年9月29日リリース文より抜粋 ~

- 格上げは、1)5月に発行した計3,000億円の転換社債型新株予約権付社債(CB)の転換行使が9月21日までに1,000億円に達し、資本の質が改善している、2)資産リスク量と自己資本、収益性とのバランスが改善している - - ことを反映したもの
- CBが全額転換され、それに伴う自己資本の増加によって、優先株買い入れが実施されれば、会社格付けをさらに引き上げる可能性が高いことから、格上げ方向での「クレジット・ウォッチ」を継続

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

2007年3月期 中間決算について

(事業セグメント編)



New way, New value

双日株式会社

2006年10月31日

機械・宇宙航空部門

(売上総利益 / 単位: 億円)

	06/9実績	07/3期初 見通し	07/3修正 見通し	足元の状況と通期の見方
機械・ 宇宙航空	246	459	496	
< 主な事業 >				
自動車	96	179	204	<ul style="list-style-type: none"> ●ベネズエラMAV、ロシアSubaru Motor、および双日本体での中近東向け取引拡大により好調
一般機械	53	115	116	<ul style="list-style-type: none"> ●双日マシナリーでの産業ロボット、製鉄設備販売、双日本体の半導体実装機販売は好調だが、プラント輸出等が納期遅れにより低調
航空機	48	83	87	<ul style="list-style-type: none"> ●資源高の影響で大型機が敬遠され、低燃費志向の中型機へのシフトが進む中、ボーイング社の販売が好調
船舶	36	65	71	<ul style="list-style-type: none"> ●傭船市況が想定よりも高値で推移しており、また、船用機器販売等も順調であり、好調

エネルギー・金属資源部門

(売上総利益 / 単位: 億円)

	06/9実績	07/3期初 見通し	07/3修正 見通し	足元の状況と通期の見方
エネルギー・ 金属資源	211	411	411	
< 主な事業 >				
石油・ガス・ LNG	88	189	172	<ul style="list-style-type: none"> ●石油上流権益事業が好調なるも、ガス増産の遅れ、国内向け石油製品事業の不振、一部子会社の持分法適用会社化で不調
石炭	32	51	56	<ul style="list-style-type: none"> ●販売好調
金属資源	73	103	135	<ul style="list-style-type: none"> ●モリブデン事業および豪州アルミナプロジェクト等の販売が好調
電力・プラント	10	51	30	<ul style="list-style-type: none"> ●取組予定案件の一部取り止めによる受注減少の影響で不調

化学品・合成樹脂部門

(売上総利益 / 単位: 億円)

	06/9実績	07/3期初 見通し	07/3修正 見通し	足元の状況と通期の見方
化学品・ 合成樹脂	227	445	466	
< 主な事業 >				
化学品	73	141	142	<ul style="list-style-type: none"> ● 高騰していた石油化学基礎原料市況は軟化基調にあるものの、全般的に堅調
合成樹脂	80	182	166	<ul style="list-style-type: none"> ● 川下の製品での価格転嫁が進まず、不調
肥料	38	62	70	<ul style="list-style-type: none"> ● 各子会社(タイTCCC、ベトナムJVF、フィリピンAFCI)で、販売数量は高水準を維持、価格も順調であり、好調
メタノール	30	45	73	<ul style="list-style-type: none"> ● KMIの定期修理終了後、工場は順調に操業。市況も想定を遥かに上回る水準での推移となっており、環境は良好

建設・木材部門

(売上総利益 / 単位: 億円)

	06/9実績	07/3期初 見通し	07/3修正 見通し	足元の状況と通期の見方
建設・木材	116	248	264	
< 主な事業 >				
マンション	34	86	86	<ul style="list-style-type: none"> ● 下期型により概ね計画通り (下期竣工予定の物件の販売は順調)
商業施設開発	7	38	35	<ul style="list-style-type: none"> ● 概ね計画通り
木材	70	108	125	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内合板市況の回復により、双日建材を中心に好調

生活産業部門

(売上総利益 / 単位: 億円)

	06/9実績	07/3期初 見通し	07/3修正 見通し	足元の状況と通期の見方
生活産業	192	457	436	
< 主な事業 >				
繊維	112	266	256	<ul style="list-style-type: none"> ● アパレル関連は小売販売が低調、非衣料関連は原料資材関連がコストアップの影響を受け、全体として低調
食料	65	147	138	<ul style="list-style-type: none"> ● 水産品・飼料原料等は堅調だが、食品等の川下分野は小売での売上低迷、競争激化の影響を受け低調
物資	15	43	42	<ul style="list-style-type: none"> ● チップ関連は堅調も、リテール関連が不振であり、全体としてやや低調

海外現地法人

(売上総利益 / 単位: 億円)

	06/9実績	07/3期初 見通し	07/3修正 見通し	足元の状況と通期の見方
海外現地法人	133	280	280	
< 主な事業 >				
米州	59	108	115	●一部機械関連が好調
欧州	22	53	47	●産業プロジェクトおよび合成樹脂関連での販売不振により、やや不調
中国	19	45	38	●一部機械関連および合成樹脂関連での販売不振により、不調
アジア	24	51	52	●化学品関連、食料関連等が順調で、概ね計画通り

新規事業開発グループ

(売上総利益 / 単位: 億円)

	06/9実績	07/3期初 見通し	07/3修正 見通し	足元の状況と通期の見方
新規事業	63	158	152	
<主な事業>				
ICT	58	146	142	<ul style="list-style-type: none"> ●日商エレクトロニクスのハードディスクドライブ販売不振により、やや低調
コンテンツ	1	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ●概ね計画通り
環境	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ●概ね計画通り

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。